

富山県ソフトテニス連盟「競技者育成プログラム」導入について(案)

1 富山県ソフトテニス連盟の実態

本県の競技力は、2000年とやま国体を契機に格段の成長を遂げ、国内外を問わず活躍する選手も多数輩出してきた。近年では、ジュニア層を中心に県全体の競技力が向上し、中学生都道府県対抗戦、国民体育大会高校の部において上位入賞を果たすなど、素晴らしい成果を上げ、新しい歴史を創りつつある。

反面、かつて国民体育大会で上位入賞を果たしていた成年の部においては、ここ数年競技力の低下が見られるようになってきている。また、一般男子選手の高年齢化や、県内外主要大会への参加数の減少など、解決すべき問題点もあげられる。

2 富山県ソフトテニス連盟の選手強化の現状と問題点

- ・ 小学生は少年団単位での強化が中心であり、地域の指導者が自己流で指導しているのが現状である。
- ・ 中学生、高校生は、学校単位の部活動が中心であり、指導者の優劣で生徒の成績がある程度決まってしまう実態がある。
- ・ 小学生と中学生、中学生と高校生、高校生と成年など世代間の交流は、以前よりは増えてはいるが、決して計画的なものではない。
- ・ 全国上位をねらう選手やチームづくりを進めていく上で、指導者の犠牲や努力に頼っており、金銭面を含めて連盟としての手立ては決して十分とは言えない。

3 競技者育成プログラム導入のねらい

ソフトテニス関係者並びに当連盟の最大の目標である「国民体育大会総合優勝」を達成するために、今回の日本ソフトテニス連盟の「競技者育成プログラム」の施行をきっかけに、今までの選手強化システム等を見直し、ジュニア層から成年まで、トータル的に競技力を向上させることが重要と考える。

強化部として、10年先を見据えた長期的な競技力向上を旨とし、競技者育成プログラムを遂行することにより、県ソフトテニス連盟を中心とした全国一の競技力を備えた組織作りを行うものである。

日本ソフトテニス連盟「競技者プログラム」について

【文部科学省 スポ - ツ振興基本計画】

この基本計画の中で、競技力の総合的な向上方策として「一貫指導システム」の構築を求められています。そして、2005年をめぐりに、競技団体がトップレベルの競技者を育成するための指導理念や指導内容を示した「競技者育成プログラム」を作成するとともに、指導体制を整備することを義務づけられました。

<日本ソフトテニス連盟競技者育成プログラムの概要>

【日本ソフトテニス連盟基本理念】

国際レベルの競技能力の開発を目指して、競技者の発掘・育成・強化の全体を通じた共通の理念と指導カリキュラムに基づいてそれぞれの時期に最適な指導を一貫して行うこと。

ソフトテニス競技をより魅力のあるスポーツに育て、競技を通じて青少年の育成に寄与していくこと。

【日本ソフトテニス連盟一貫指導システムの定義】

競技者の育成に重要なジュニア・ユース期の各学校段階での異なる指導者の下においても、一貫した指導理念に基づいて、個人の特性や発達段階に応じた最適の指導を受けることを通じて、トップレベルの競技者に育成されるように構築されたシステム。

【日本ソフトテニス連盟競技者育成プログラム】

1 システムについて

学校枠を越えた、年齢別による3つのカテゴリ - を設定し、選手育成を図る。

- ・ アンダー14（10歳～14歳）
- ・ アンダー18（18歳以下）
- ・ アンダー21（21歳以下）

ステップ1 郡市、地区レベルの選手強化

ステップ2 県レベルの選手強化

ステップ3 北信越ブロックレベルの選手強化

ステップ4 全日本レベルの選手強化

ステップ5 ナショナルチ - ムレベルの選手強化

2 導入までの流れ

平成17年10月中に「競技者育成プログラム」の周知し、組織作りに着手

平成17年11月～平成18年3月まで県レベルでの練習会の実施

平成18年度以降本格実施 県及び北信越の活動計画をあわせて検討・作成

1 . 富山県ソフトテニス連盟選抜強化チーム運営指針

【富山県ソフトテニス連盟強化基本理念】

日本ソフトテニス連盟の基本理念に準じ、県内の競技力向上と底辺拡大に務めるとともに、競技を通じて「気づき・考え・行動する」といった生活能力、いわゆる「生きる力」の指導にも力を入れ、青少年の育成に寄与していくこと。

【富山県ソフトテニス連盟一貫指導システムの定義】

日本代表クラス並びに北信越トップクラスの競技能力の開発を目指して、競技者の成長と発達に応じながら、その可能性を最大限に開発するために、ステップ1(各地区)、ステップ3(北信越)、ステップ4～5(全日本)との連携を図り、発掘・育成・強化の全体を通じた共通の理念と指導カリキュラムに基づいて、それぞれの時期に適切な指導を行うこと。

これらを実施するために必要な資源、要素、条件の仕組み及びそれを活性化し、効果的に運営するためのシステム。

2 . 選抜強化チーム全体目標

- ・ 「チームTOYAMA」として、全国一の総合力を持つ県への成長
- ・ 国民体育大会総合優勝
- ・ 国際大会及び、国内主要大会で活躍できる選手の育成

3 . 活動内容

【競技力の推進】～勝つことを目指した強い選手の育成～

- ・ 強化練習会（遠征を含む）の開催
- ・ 強化選手選考セレクションの開催
- ・ 研修大会の開催

【指導者の養成】～質の高い指導者の育成と確保～

- ・ 指導者研修会の開催
- ・ 代表指導者の視察派遣
- ・ 各カテゴリー指導者における定例会の開催
- ・ 県内ジュニア研修会・講習会における県連公認指導者の地域派遣
- ・ 公認スポーツ指導者養成講習会への参加

4. 選抜強化チーム各カテゴリーについて

【アンダー14】 ~活動の中心をSEIBUスポーツクラブにて行う~

- ・ 対 象 ... 小学校5年生~中学校3年生
- ・ 練 習 日 ... 毎週土曜日(変更あり)及び、指定練習日
- ・ 定 員 ... 男女計 30名(上限)
- ・ 練 習 場 所 ... 県西部体育センター 前庭球場 宮野運動公園
岩瀬スポーツ公園 YKK体育館 県総合体育センターなど
- ・ チーム目標 ... 都道府県対抗優勝 全中優勝 全小優勝
- ・ 費 用 ... 選手負担月額3,000円
県連強化費
- ・ 選手選考基準... 指定する大会の入賞者
セレクション合格者
強化部推薦選手
- ・ 指導スタッフ...

監督	男女各1名
コーチ	男女各2名
マネージャー	男女各1名
中体連強化委員	2名
小学生強化委員	1名
ヒッティングパートナー	若干名
- ・ そ の 他 ... 中学生の活動は3年生の全中終了までとする。以後、意欲と能力があると認められた者はアンダー18へ移行し活動する。

【アンダー18】

- ・ 対象 ... 中学校3年生の9月～高校3年生
- ・ 練習日 ... 毎月1回程度、指定練習日
- ・ 定員 ... 男女30名(上限)
- ・ 練習場所 ... 高岡スポーツコア・宮野運動公園・県総合体育センターなど
- ・ チーム目標 ... 国民体育大会優勝
- ・ 費用 ... 受益者負担及び、県連強化費
- ・ 選手選考基準 ... 指定する大会の入賞者
セレクション合格者
強化部推薦選手
- ・ 指導スタッフ ... 監督 男女各1名
コーチ 男女各2名
マネージャー 男女各1名
高体連強化委員 2名
ヒッティングパートナー 数名

【国体強化チーム】

- ・ 対象 ... 大学生～一般
- ・ 練習日 ... 年3回の合宿及び、指定練習日
- ・ 定員 ... 男女各12名以内
- ・ 練習場所 ... 県内施設及び、遠征先
- ・ チーム目標 ... 国民体育大会優勝
- ・ 料金 ... 国体強化費及び、受益者負担
- ・ 選手選考基準 ... 前年度県ランキング上位者
国内大会上位入賞者
強化部推薦選手
国体予選優勝者。
- ・ 指導スタッフ ... 監督 男女各1名
コーチ 男女各2名
マネージャー 男女各1名

5 . 選抜強化チ - ム指導者について

県選抜強化チームの指導スタッフは、監督・コーチ・マネージャーで構成する。指導スタッフは、競技者育成プログラム（特に、一貫指導及び一貫指導システム）を理解し、県連、各地域の連盟との協力を図り、県選抜強化選手の競技力向上に務めるとともに、指導者としての資質を高める事を義務とする。

【監督】

各カテゴリーの監督は、下記の事項を満たす人物とし、厳守を義務とする。任期は原則3年とし、県連強化部の推薦により決定する。

- 1 . コーチの資質を持ち、全体を総括する力を持っていること。
- 2 . 練習会や遠征、及び大会の引率ができること。
- 3 . 県連強化部及び、各地域、ブロックとの連携が図れること。
- 4 . 選手から信頼され、選手の競技力向上に尽力できること。
- 5 . 競技者育成プログラムを理解し、他指導者、コーチとの連携が図れること。
- 6 . 公認コーチ及び、上級指導員、指導員の資格を持っていること。
- 7 . 県強化チーム指導スタッフの一員として自覚を持ち、社会的、人間的にも優れ、強化選手の手本となる人物であること。

【コーチ】

各カテゴリーのコーチは、下記の事項を満たす人物とし、厳守を義務とする。任期は原則1年とし、各地域から選出された指導者の中から、県連強化部及び、監督の推薦により決定する。

- 1 . コーチの資質を持ち、監督のサポートができること。
- 2 . 練習会や遠征及び、大会の引率ができること。
- 3 . 各地域との連携が図れること。
- 4 . 選手から信頼され、選手の競技力向上に尽力できること。
- 5 . 競技者育成プログラムを理解し、地域指導者、地域コーチとの連携が図れること。
- 6 . 公認コーチ及び、上級指導員、指導員の資格を持っていること。
- 7 . 県強化チーム指導スタッフの一員として自覚を持ち、社会的、人間的にも優れ、強化選手の手本となる人物であること。

【マネージャー】

各カテゴリーのマネージャーは、下記の事項を満たす人物とし、厳守を義務とする。任期は原則1年、人数は各カテゴリー1名とし、各地域から選出された指導者（中体連・高体連の指導者も含む）の中から、県連強化部及び、監督の推薦により決定する。

- 1．コーチの資質を持ち、監督、コーチのサポートができること。
- 2．練習会や遠征及び、大会の引率ができること。
- 3．県連、各地域、各所属チーム、中体連、高体連との連携が図れること。
- 4．選手から信頼され、チーム全体の総括ができること。
- 5．県強化チーム指導スタッフの一員として自覚を持ち、社会的、人間的にも優れ、強化選手の手本となる人物であること。

国民体育大会並びに都道府県対抗戦は、個人の考えの下で行えるものではなく、富山県の代表として各選抜強化チームに所属し、県（連盟）の方針に基づいて行うものである。

よって、個人の考えあるいは所属チームの考えを主張する指導者、県（連盟）の定める規則方針に反する指導者の大会への参加は認めないこととする。

6 . 県選抜強化選手について

県選抜強化チームの選手選考は、県連強化部及び、各カテゴリーのスタッフが決定する大会成績の上位入賞者（大会成績優秀者）、セレクション選考による合格者（身体能力、競技能力優秀者）県連強化部推薦者を、第一次選手選考基準とする。

第一次選考の中から下記の事項を満たす人物及び、厳守できる人物を選考し、富山県強化指定選手とする。

- 1 . スポーツをする上でのルール・マナーが守れること。
- 2 . ソフトテニスのルールを理解していること。
- 3 . 上達したいという向上心を常に持ち続け、自己アピールができること。
- 4 . 強化チームにふさわしい心・技・体を持ち合わせていること。
- 5 . 練習会・遠征・大会に参加できること。
- 6 . 礼儀作法（挨拶・言葉使い等）が徹底できること。
- 7 . 県の代表選手としての自覚を持ち、社会的、人間的にも優れていること。
- 8 . 全てに対して「感謝の心」を持っていること。

国民体育大会並びに都道府県対抗戦は、個人の考えの下で行えるものではなく、富山県の代表として各選抜強化チームに所属し、県（連盟）の方針に基づいて行うものである。

よって、個人の考えあるいは所属チームの考えを主張する選手、県（連盟）の定める規則、方針に反する選手の大会への参加は認めないこととする。